

2020.07.2.Thursday

学修・教育開発センター（CRED）



## SAについて

スタートアップセミナー「自主自律」では、一クラスに一名、新入生の学びを支える上級生のSA（スチューデント・アシスタント）を採用しております。今号では、SAについてご報告いたします。

SAは、十一月ごろ募集が始まり、一月に決定いたしますが、毎年、採用枠を超えた数の応募があり、審査の結果採用された上級生に勤務をしていただいている状況です。今年度は三十一名のSAが採用されました。SAに応募する学生の志望動機は、「新入生のサポートがしたい」「昨年度のSAの先輩にあこがれて」「コミュニケーション能力を身につけたい」「授業運営にかかわってみたい」など多岐にわたりますが、いずれの場合でも東京家政大学の上級生代表としての責任を負えることが応募の必須条件となっております。採用が決定したのちは事前研修に必ず参加し、授業開始までに担当教員と授業についての打ち合わせを行うことが義務付けられています。

通常SAは担当教員との事前

打ち合わせのもと、授業前後の環境の準備、授業中の新入生の観察、授業外での新入生のサポートなどが職務になっていきますが、今年は前期すべての科目が、オンライン授業になったことから、その役割の重要性が増していると感じています。

特に第四回授業において、SAが大学入学前・大学生活・卒業後について今の自分が考えていることを二十分間で発表する機会を設けているのですが、大学に入構できない今、上級生のこれまでの大学生活について知ることができると非常にいい機会になったことが新入生の感想からわかりました。（裏面に授業の感想を掲載しておりますので合わせてご確認ください）

また、当初目的としていたSAと新入生の縦のつながりだけではなく、SA同士の学年や学科を超えた横のつながりが生まれていることも特筆すべき点です。同時開講の三十二クラスにおいてほかのクラスの良い点を自分のクラスに生かそうとするSA同士のやりとりが見られ、非常に心強く感じています。

## Report 02

## SAからのレポート

昨年度に引き続き2年連続でSAを務めていただいているTさんに、科目についてお伺いいたしました。



T.Yさん

人文学部 3年  
心理カウンセリング学科

去年SAを担当して、授業の計画、準備、運営の方法などを知り、自分が授業を受けるときの気持ちが変わりました。また、担当の先生は、異なる学科の先生と組ませていただくので、専門的で面白い知識を教えていただくことや、ほかの学科のことについて知ることができます。

授業中は、答えを教えるのではなく、サポートするという難しい立場ですが、どのような声掛けがいいかなどの人との接し方を学ぶことができました。今年はオンライン授業となり、顔も反応も見えないので不安がありますが、担当の先生

と協力して、絆を深めながら学べるように工夫していきたいと考えています。

授業の内容は大きく二つに分かれており、当大学の歴史について学ぶことは、自分が大学に通う目的や目標を探したり、確認したりできるよい機会だと感じています。また、女子大学という特徴を活かして、これから社会でどのように活躍していきたいかを具体的に考えることができると思いました。多学科が1つのキャンパスに集まっているので、学科を越えて交流できる点がユニークです。

# SAからのレポート

昨年度は受講生、今年度はSAとして授業運営に携わっていただいているTさんに、第四回のSA発表についてどのような点に工夫をしたのか伺いました。

私がこの授業を受講した際、SAの先輩はさりげなく助けて下さったり、私達を暖かく見守って下さいました。

先輩の発表で沢山のことを得た為、発表の内容に悩みました。オンライン授業(他の授業を含め)の不安なことを解消することがSAとしての役目なのではないか、という責任感もありました。

そして私は次の三つ(⊖退屈させない ⊖聞きやすい話し方 ⊖親近感)を目標に設定しました。また、途中でクイズを取り入れ、話す速度を落としたりする・失敗談を話す等の工夫をしました。

失敗談を話すという案はSAの先輩から

教えて頂きました。ありがとうございます。「親近感」は授業中の疑問点などを聞きやすい立ち場になりたいと考えたからです。

授業は驚きの連続でした。

初対面での話し合いで顔も見えず、沈黙が続いてしまうのでは、と不安でしたが司会係の方が円滑に進行するだけでなく、全員の話し合いへの積極性が素晴らしいと感じました。

対面授業であれば、より活発な話し合いが出来るのだろうという気持ちもありますが、最後の授業まで皆さんと親睦を深めていきたいです。



T.Mさん

家政学部 2年  
服飾美術学科

## 授業の感想を紹介します

第四回授業では、SAのこれまでとこれからをテーマにした20分間のプレゼンテーションを実施しました。受講生から寄せられた感想を紹介します。

- SAさんと私の学部とは違いますが、他学部のことや大学生活に欠かせないアドバイスを色々と教えてくださってすごく心強かったです。オンライン授業で人と関わりが無い中での情報共有は不安なことがいくつもあったので、今回のプレゼンテーションで先輩の声を聞いて良かったです。
- 学生の間でしかできない挑戦をたくさんして、自分の武器は何かを考えていきたいと思いました。今の社会はただ知識があるだけでは足りず、臨機応変に対応する能力やコミュニケーション能力が重要だと思います。そのため、在学中に多くの先生や、学生に出会い、いろんな考え方を身につけていきたいです。失敗してもそこから学ぶことがたくさんあると思うので前向きに、積極的に外に出ていきたいです。その中で自分はどんなことに興味があるのか、どんなことが得意なのかを考え、4年間でこれは私の武器だ、と言えるものを育てていきたいです。社会に出てから本学の学びを活かして「さすが、東京家政大学出身の学生なだけあるな!」と思ってもらえるよう頑張りたいです。
- プレゼンを聞いていて不意に涙が出そうになりました。SAさんのことは初めて見た時からとてもキラキラしていて、明るくて素敵な方だなと思っていました。一年生の時に大変な経験をたくさんしたのですがそんなことが想像もつかなかったです。私はいつも嫌いなことから逃げてしまうので、SAさんのプレゼンを聞いてとても勇気とやる気をもらいました!
- SAさんが高校時代や大学のことをお話して下さったことで、とても近く感じ自分自身を考えなおすきっかけになりました。私自身も、どうしても叶えたい夢があったのですが上手くいかず、方向性を変えてこの大学に進学することを決めました。そのため、本当にこの方向性でうまくいくのかやっつけられるのか心配な気持ちもありました。しかしながら、試練を乗り越えて方向性は変わっても自分のしたいことをしているSAさんの姿に自分も頑張ろうという気持ちになりました。